

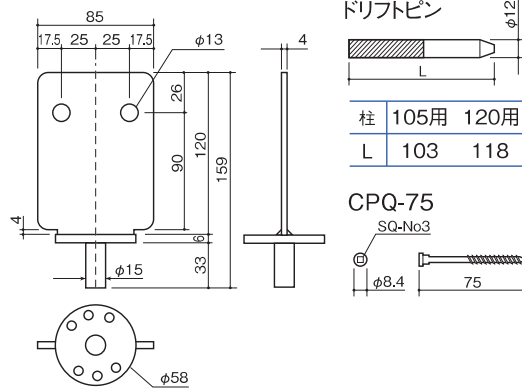
77 後施工金物<柱頭・柱脚用>

[INAGON金物]

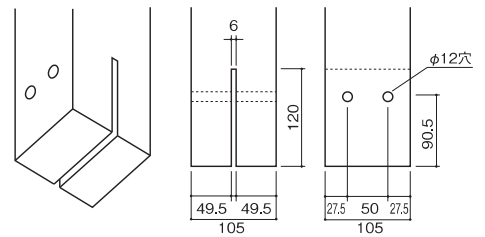
既存住宅等の柱増設が容易にできます。

後施工金物1 (105用・120用)

■仕様図



■木材加工詳細図

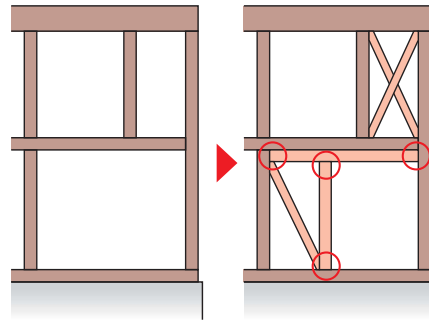


リフォーム対応



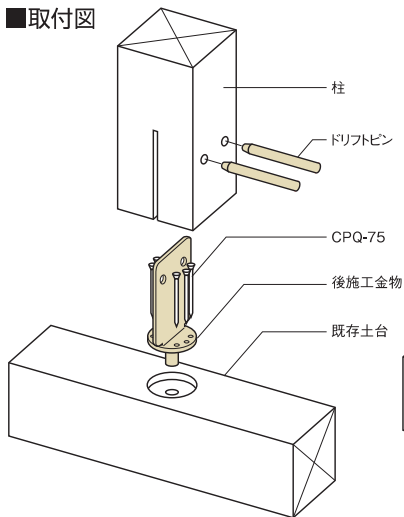
ビスCPQ-75 (Mブルー)

■取付箇所



赤丸の箇所では後施工金物が新規の柱・梁を強固に接合

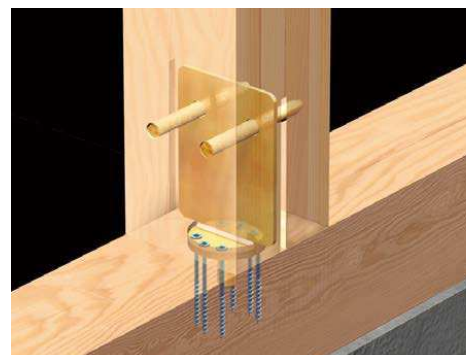
■取付図



推奨座掘錐

No.28P 超硬P型座掘錐

- パイプ径/15mm
- 座掘径/60mm
- 座掘錐とパイプはセット販売です。



用途

- 柱と梁を緊結する時に使用します。

特長

- 既存住宅等の耐震補強に「後施工金物」を使用することにより容易に柱増設ができます。
- ビス止め金物なので柱仕口の引抜力が確保できます。
- 柱等の増設が容易になり今まで大変だった施工を平準化することが可能です。
- ビス止め金物なので木材の欠損が抑えられます。
- 後付け施工でも柱仕口に対してしっかりとした強度を数値化できます。

使用方法

- 1 新規柱が正確に取付けられるように梁・梁間、梁・土台間の寸法を正確に測定します。
- 2 梁等のソリ曲がり等がある場合は、水平器で水平になるようにカンナ等で加工します。
- 3 新規柱は、上図の木材加工詳細図を確認しながら6mmのスリットを鋸で加工し、φ12の穴をドリルで加工します。
- 4 既存梁の加工寸法を、必ず水平器で水平を確認してからφ15のドリルで穴あけを行います。
- 5 φ60の座掘錐で座掘加工します。(座掘深さは10mmです)
- 6 穴に合わせて上下に注意し金物を取付けます。ビスを打ち込み、新規柱をドリフトピンで固定します。

注意事項

- 必ず付属品で接合してください。
- ビス接合用の四角ビット(#3)は別売品です。
- 座掘深さ等加工寸法には注意して施工してください。
- 取扱いに関する注意事項は20ページを参照してください。

後施工金物耐力試験

※既存木材の座掘り深さは、すべて10mmです。
※柱:集成材(スプルー)、横架材:すぎ

製品名	短期基準接合耐力	
	引張耐力	せん断耐力
後施工金物(柱頭・柱脚用)	12.3kN	6.1kN

(一財)建材試験センター

後施工金物(柱頭・柱脚用)

型番	商品コード	出荷単位	梱包	作業工程別梱包の分類	メーカー希望小売価格 円/個(税抜)
後施工金物1(105用)	175000	1個	20個/ケース	構造	1,650
後施工金物1(120用)	175100				1,750

材質	プレート部:JIS G 3131 SPHC 座部:JIS G 3507 SWRCH10R
表面処理	クロメートメッキ (JIS H 8610に規定するEp-Fe/Zn8/CM2)
付属品	ビスCPQ-75 (Mブルー)×6本、ドリフトピン2本
承認等	(一財)建材試験センター 品質性能試験報告書 受付第04A0269号/第04A0270号

No.28P 超硬P型座掘錐

型番	商品コード	出荷単位	梱包	作業工程別梱包の分類	メーカー希望小売価格 円/個(税抜)
28P-1560	790010	1個	1個	土台	13,000